

**農薬飛散(ドリフト)低減対策試験・実証等に関する情報交換会アンケート
(平成19年3月1日実施)
集計結果の概要**

[アンケート回答者の状況](問1・問2:回答数122名)

アンケートは、188名の参加者に対して実施し、122名から回答があり、回収率は65.4%であった。

回答者の職業別内訳は、府県普及指導センター担当者が32%(38名)、府県担当者が20%(25名)、農業団体・営農指導担当者が11%(13名)、農薬等製造メーカー及び農機具関連事業者は併せて12%(15名)であった。

一方、府県別では、兵庫県が20%(25名)、京都府・大阪府がそれぞれ17%(21名)であり、近畿以外からの出席も22%(26名)を占めた。

[情報交換会参加の目的](問3:複数回答218名)

情報交換会への参加目的は、「ドリフト低減対策全般の情報収集のため」が47%(102名)と最も多く、次いで「今後の指導の参考とするため」が30%(65名)であった。

[情報交換会の内容](問4・問5)

・ 報告の内容(回答数118名)については、「とてもわかりやすかった」が27%(32名)、「ほぼ理解できた」が69%(82名)あり、併せて93%(114名)で、また、スライドや配布資料(回答数116名)についても、「とてもわかりやすかった」が21%(24名)、「ほぼ理解できた」が74%(86名)となっており、併せて90%(110名)となっており、多くの方の理解を得ている。

・ 情報交換会に出席して具体的にどうであったか(複数回答141名)については、「ドリフト低減対策の新たな情報を得られた」が51%(72名)と半数を占め、「今後の産地での取組の参考になった」が28%(39名)などであった。

・ 今後の取組予定については(複数回答154名)、「ドリフト低減対策に関する情報収集を行う」が、37%(56名)、「低減対策の技術を具体的に普及(紹介)していく」が25%(38名)、「低減対策(取組)を具体的に検討する」が21%(33名)などとなっている。

[具体的なドリフト低減対策や取組](問6:回答数31名)

主な取組として、ソルゴー囲い込み栽培、ドリフト・スリップス、防風対策試験、多品目に登録のある農薬の選択、IPMシステム・科学的有機農業技術の普及、ソルゴー以外の障壁作物の探索、ネット、不織布、展着剤の活用などが示された。

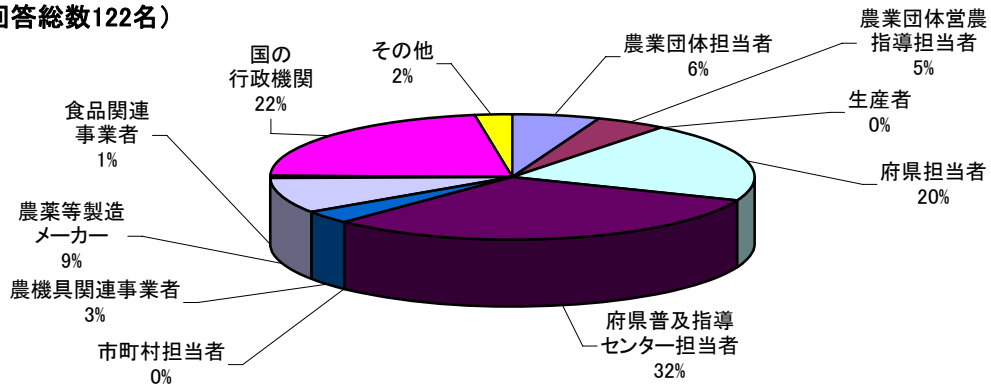
[農薬飛散(ドリフト)低減対策の有効な技術や事例の紹介](問7)

低減対策の有効な技術として、和歌山県日高川町でのナスほ場の周囲をソルゴーで囲い込む事例の紹介があった。

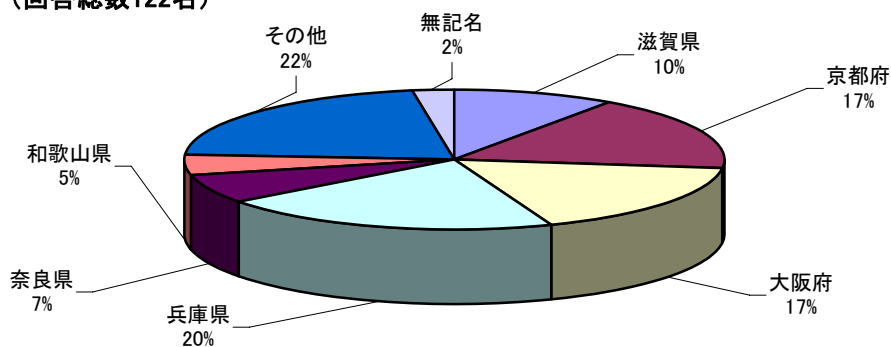
**[ドリフト低減対策を推進または指導していく上での課題や問題点、意見、感想]
(問8:回答数31名)**

課題や問題点としては、防除効果に対する試験データの不足、IPM資材の情報の必要性、ドリフト低減機器のコストの問題、ドリフト事例・指標の設定などがあり、意見としてはドリフトの少ない粒剤の開発、全国的に情報交換を行う場の設定の必要性、農薬の登録に関するものがあった。

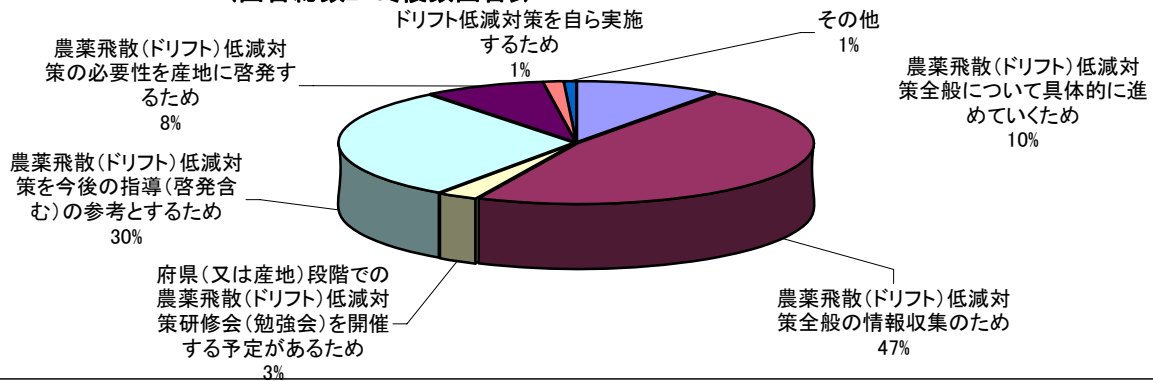
**問1 アンケート回答者の職業別
(回答総数122名)**



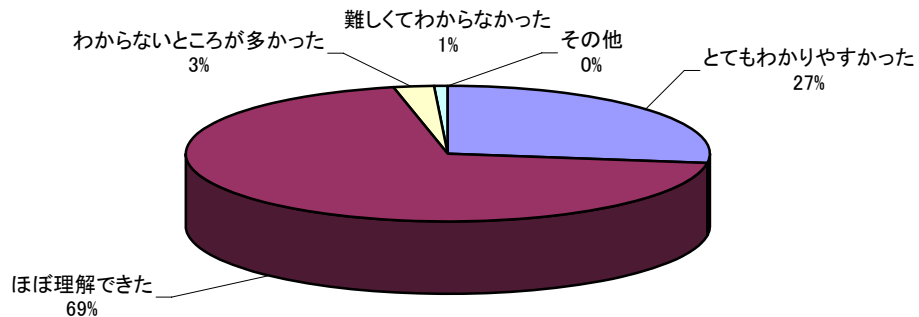
**問2 本日はどちらからお越しになりましたか。
(回答総数122名)**



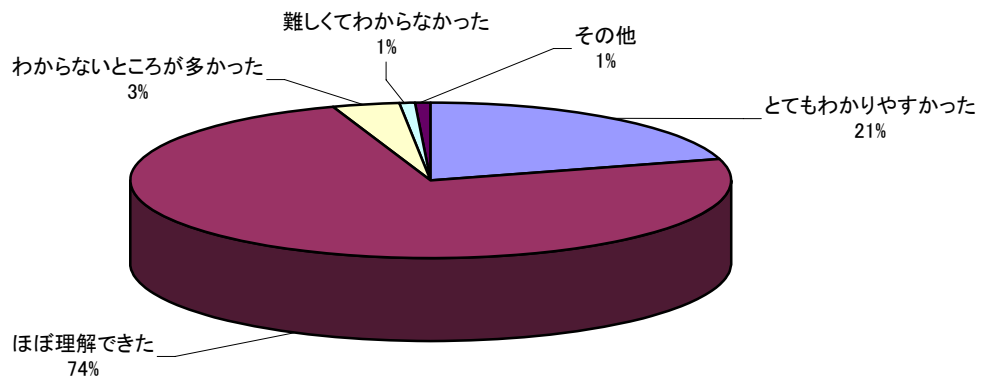
**問3 あなたは、どのような目的でこの情報交換会に参加しましたか。
(回答総数218[複数回答])**



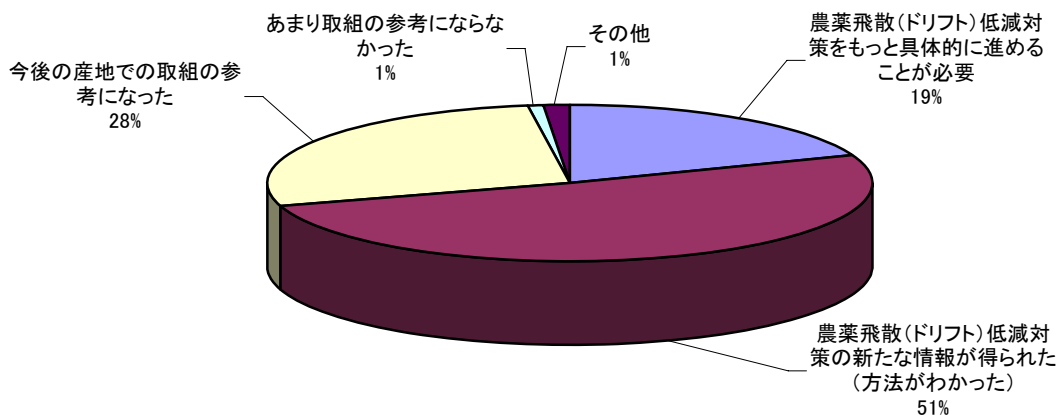
問4(1) 報告の内容について (回答総数118名)



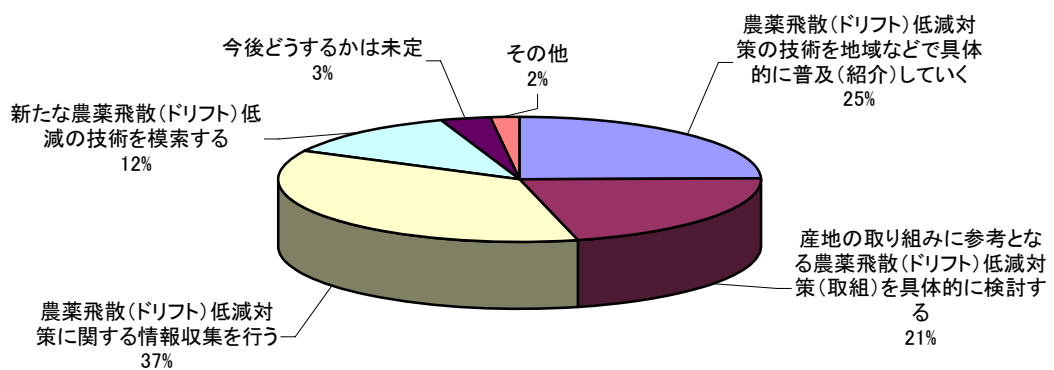
問4(2) スライド・配布資料について (回答総数116名)



問5(1) 本日の情報交換会は具体的にどうでしたか。(回答総数141[複数回答])



問5(2) 本日の情報交換会に参加したことで、今後どのように取り組まれますか。(回答総数154名)



問5 本日の情報交換会全体について、お尋ねします。 《複数回答可》

(1) 本日の情報交換会は具体的にどうでしたか。

- 農薬飛散（ドリフト）低減対策をもっと具体的に進めることが必要
- 農薬飛散（ドリフト）低減対策の新たな情報が得られた（方法がわかった）
- 今後の産地での取組の参考になった
- あまり取組の参考にならなかった
- その他（

(2) 本日の情報交換会に参加したことで、今後どのように取り組まれますか。

- 農薬飛散（ドリフト）低減対策の技術を地域などで具体的に普及（紹介）していく
- 産地の取り組みに参考となる農薬飛散（ドリフト）低減対策（取組）を具体的に検討する
- 農薬飛散（ドリフト）低減対策に関する情報収集を行う
- 新たな農薬飛散（ドリフト）低減の技術を模索する
- 今後どうするかは未定
- その他（

問6 本年でポジティブリスト制度施行から2年目を迎えますが、そのことを踏まえ、何か具体的な農薬飛散（ドリフト）低減対策や取組を考えておられますか。

対策・取組

問7 本日の情報交換会の中で報告のあった試験・実証事例のほかに農薬飛散（ドリフト）低減対策の有効な技術や事例などご存知でしたらご紹介下さい。

地域：
内容：

問8 農薬飛散（ドリフト）低減対策を推進または指導していく上で、課題・問題点などがある場合やその他ご意見・ご感想がありましたら、ご自由にお書き下さい。

【 ご協力ありがとうございました。 】